

令和5年度調査に不足する調査の実施（案）

（1）趣旨

令和5年度には、就学前児童の保護者、小学生本人及び保護者、中学生本人及び保護者に対しアンケート調査を実施した。

令和6年度に「こども計画」を策定するにあたり、こどもの意見表明の場としてこどもワークショップを開催するとともに、アンケート調査では把握しづらい、配慮の必要があると思われるこどもたちの状況を把握するため、ヒアリングを実施する。

（2）追加調査

①こどもワークショップ

令和5年度実施したアンケート調査では、小学生本人、中学生本人、高校生世代を対象に調査を実施しているものの、高校生世代からのアンケートの回収数が十分に得られなかったという課題がある。また、教育委員会では、教育振興基本計画策定のためのアンケート調査を実施しており、小学生本人、中学生本人からは、別の視点で調査ができている。（今後、両計画でお互いに調査した調査結果を活用予定）

以上からも、今回、高校生世代を対象としワークショップを実施する。

②ヒアリング調査

アンケートでは聞き取ることができない保育所、幼稚園、学童クラブ、児童館、こども家庭センター、児童発達支援センター、日本語学校等に通う配慮が必要と思われるこども・若者の状況について、職員の方に対してヒアリングシートを配布し、記入していただく。必要に応じて、対象の絞込みを行い、対面式のヒアリングを実施する予定。